

[133]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6796049>

出版情報：語文研究. 133, 2022-06-02. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

市河寛齋の漢詩研究——性靈詩風の形成を中心に——

王 自強

▼令和三年度 学位論文題目

学部

博士

否定疑問文の歴史的研究——疑問辞と否定辞に基づく非分析

徳之島諸方言の名詞アクセントの記述的研究

金 アリン

的な否定疑問文の考察——

稲田 拓斗

中古・中世における副助詞ナドの様相

高橋 義輝

副詞「ニハカニ」の漢字表記の歴史の変遷

眞名子 結花

使用状況から見る「超」の様相

藤井 航

『源氏物語』における墨染の美

香川 麻優

源氏物語における女君の色彩

神野 優菜

『落窪物語』におけるあこきについて

廣見 美月

樗良研究——その作品と俳諧観について——

大畑 理緒

三宅嘯山と俳諧——文人意識を中心に——

上部 拓郎

梶井基次郎『雪後』『ある崖上の感情』論——ギリシヤ神話を

視座にして——

中橋 正樹

修士

漢語「差別」の語史

山本 祐久

副詞「一向に」の歴史の変遷

倉岡 幸佑

▼受贈図書（二〇二二年十月～二〇二三年二月）

九大日文 第38号（九州大学日本語文学会）

九州大学大学院比較社会文化研究院

万葉集と東アジア世界 上・下（川勝守） 川勝 賢亮

飛鳥井家歌学の形成と展開 日高 愛子

〒八一九一〇三九五

福岡市西区元岡七四四 E1B1614

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax: 〇九二一八〇二一五〇八五)

ホームページアドレス

<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~japano/index.html>

(研究室のメールアドレスも記していますので、学会関係・住所変更等の各種連絡にも御利用下さい。)

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に寄稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千円(各号二部配布)、通常会員二千円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。

語文研究刊行会

振替口座 〇一七六〇一二一二三三四六